

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】阿蘇市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
40	2010.2.26			熊本県	阿蘇市	29,636	376.25
構想の要約		新上五島町は、切捨て間伐材や端材をボイラー等の熱源としての有効利用、食品廃棄物の減量化と利用拡大及び廃食用油の収集拡大によるBDF燃料化の推進を図り、バイオマスの物質的・経済的循環による住民と一体となった地域産業の振興を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①草本系バイオマスの利活用推進（草の多目的利用（飼料・堆肥・紙など） ②メタン発酵利用 ③資源米の栽培とバイオマスプラスチックの活用 ④木質バイオマスを燃料として利用 ⑤菜の花プロジェクトの推進 ⑥教育・普及活動					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材	○		
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造	○	ガス化	○
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量			変換・処理方法	目標仕向量		利用・販売	利用率
	湿潤量 (t/年)	炭素量 (Ct/年)	出典		湿潤量 (t/年)	炭素量 (Ct/年)		
廃棄物系バイオマス								
乳牛ふん尿	37,446	1,539.7	※	メタン発酵・堆肥化	37,446	1,539.7	堆肥・液肥・農地還元 発電・熱利用	100.0%
肉牛ふん尿	95,731	5,389.4	※	堆肥化	95,731	5,389.4	堆肥・農地還元	100.0%
豚ふん尿	68,755	2,758.4	※	メタン発酵・堆肥化	68,755	2,758.4	堆肥・液肥・農地還元 発電・熱利用	100.0%
プロイラーふん	10,407	1,083.4	※	メタン発酵・堆肥化	10,407	1,083.4	堆肥・液肥・農地還元 発電・熱利用	100.0%
採卵鶏ふん	35	3.6	※	メタン発酵・堆肥化	35	3.6	堆肥・液肥・農地還元 発電・熱利用	100.0%
生活系生ごみ	1,789	79.1	※1	メタン発酵・堆肥化	1,789	79.1	堆肥・液肥・農地還元 発電・熱利用	100.0%
事業系生ごみ	1,014	44.8	※1	飼料化・メタン発酵 堆肥化	1,014	44.8	堆肥・液肥・農地還元 飼料・発電・熱利用	100.0%
廃食用油	137	97.8	※	BDF化	131	93.5	BDF・輸送用燃料	95.6%
下水汚泥	435	41.8	※1	肥料化	435	41.8	肥料・農地還元	100.0%
浄化槽汚泥	7,742	743.2	※1	肥料化	7,742	743.2	肥料・農地還元	100.0%
し尿汚泥	5,044	484.2	※1	肥料化	5,044	484.2	肥料・農地還元	100.0%
製材残材	3,135	1,380.3	※1	薪・チップ化・敷料 ペレット化	2,822	1,242.3	薪・チップ・敷料 木質ペレット・熱利用	90.0%
建築発生木材	1,083	488.1	※1	チップ化	1,082	487.6	発電・熱利用	99.9%
計	232,753	14,133.8			232,433	13,991.0		99.0%
未利用バイオマス								
林地残材	4,495	1,001.2	※2	薪・チップ化 ペレット化	899	200.2	薪・チップ・敷料 木質ペレット・熱利用	20.0%
果樹剪定枝	79	17.60	※1	薪・チップ化 ガス化	67	14.96	マルチング 発電・熱利用	85.0%
竹林 (伐採可能量)	1,595	284.8	※2	竹材・炭化	160	28.5	用材・竹炭	10.0%
野草	41,304	13,514.7	※3,4	飼料化・敷料 堆肥化・ガス化	37,174	12,163.2	飼料・敷料・堆肥 発電・熱利用	90.0%
稲わら	18,181	5,205.3	※	飼料化・敷料	16,363	4,684.7	飼料・敷料	90.0%
もみ殻	3,642	1,042.6	※	敷料・堆肥化	2,913	834.1	飼料・敷料・堆肥	80.0%
麦わら	411	117.7	※	敷料・ガス化	41	11.8	自家利用・市内外販売 発電・熱利用	10.0%
規格外トマト	140	3.49	※2	加工食品・メタン発酵	140	3.49	ケチャップ・液肥 農地還元・発電・熱利用	100.0%
トマト非食用部	700	57.3	※2	堆肥化	280	22.9	堆肥・農地還元	40.0%
計	70,547	21,244.69			58,037	17,963.85		84.6%
資源作物								
資源米※8	-	-		バイオマスプラスチック	700	313.0	プラスチック製品	-
菜種	-	-		廃食用油のBDF化	11	8.0	食用油・BDF	-

※ 阿蘇市統計データおよびヒアリングデータ

※1 バイオマス賦存量・利用可能量の推計 ～GISデータベース～ (NEDO)

※2 平成20年度 農林水産省環境バイオマス総合対策事業 実地調査報告書

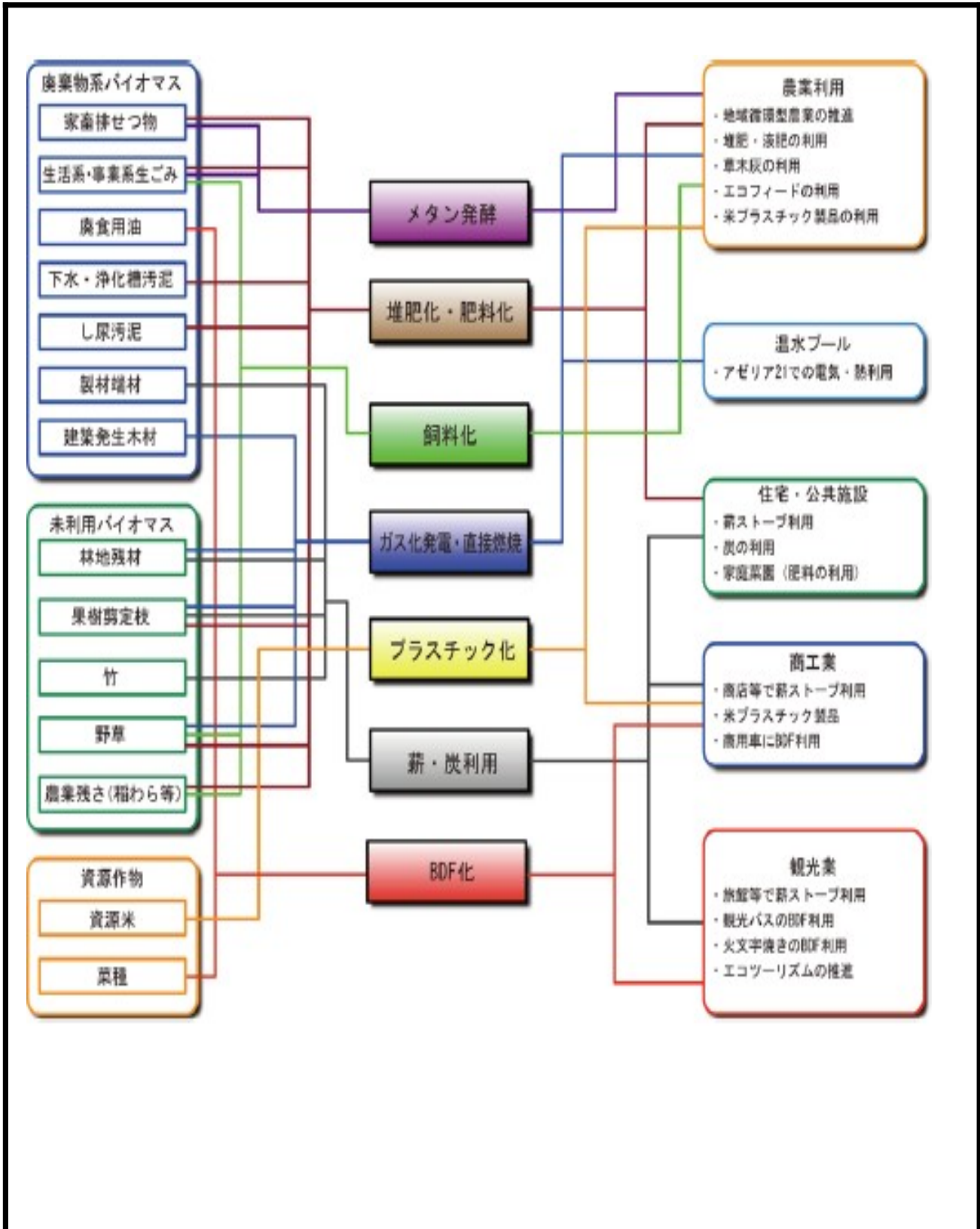
※3 平成19年度阿蘇草原再生牧野組合現況調査(環境省)

※4 平成20年度草本系バイオマスのエネルギー利活用システム実験事業 委員会資料(NEDO)

端数処理のため湿潤量ベースと炭素量ベースの利用率が一致しない箇所がある。

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)